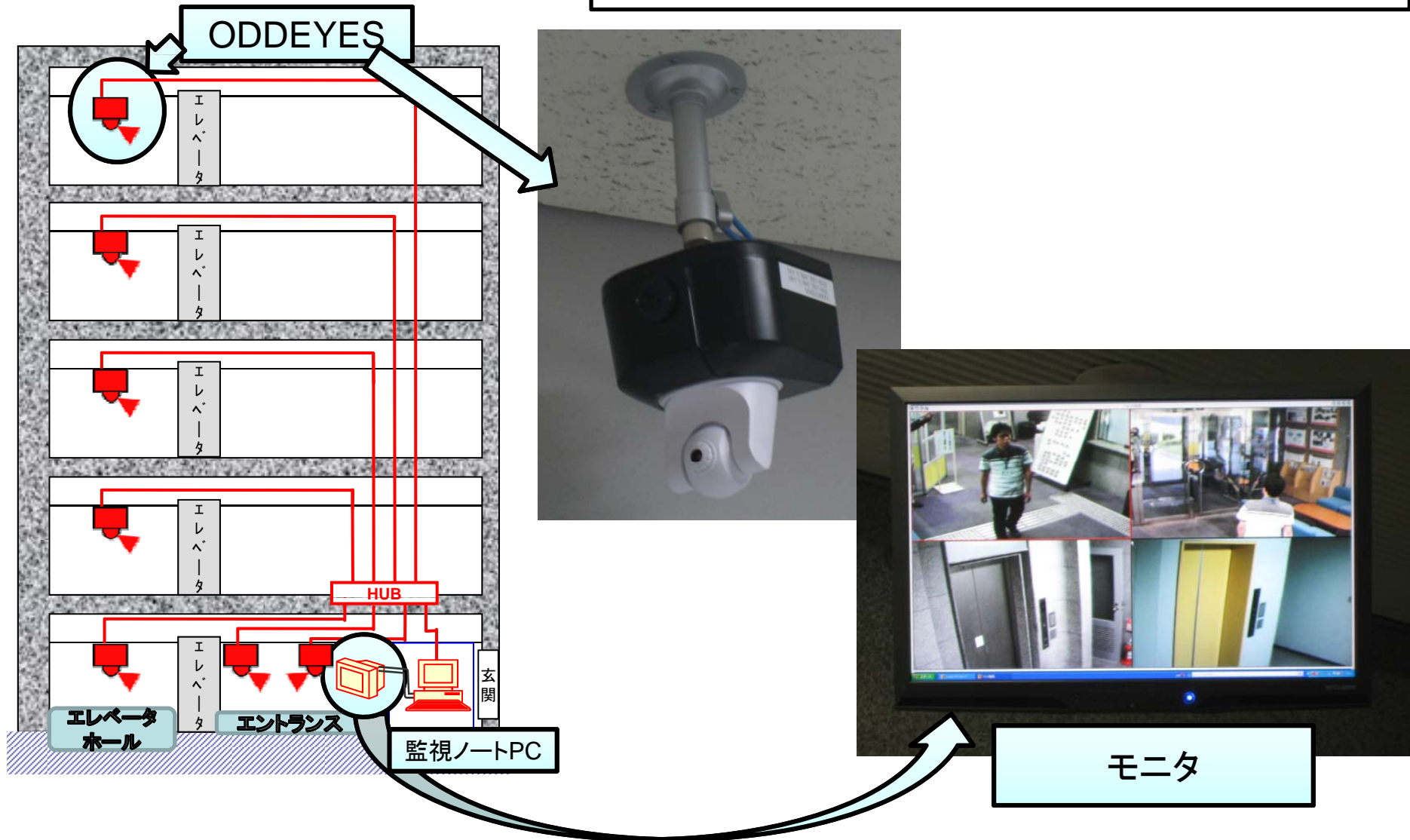


ODDEYESによる知的監視 カメラシステムの導入事例紹介



設置方法の概略

5階建てビルにおいて、全階含む計7台のODDEYESを設置いたしました。
それを、たった1台の市販ノートPCにて管理しております。
また、エントランスに設置したモニターにて、各階の状況を表示しております。



インテリジェント監視システムの特徴

① 可動式カメラで動く人・物をリアルタイムに捕捉

移動物体を検知するセンサ(IVS)と、映像を捉えるセンサとを組合せ、自動で移動物体を検知し、捕捉撮影。インテリジェントな監視カメラユニット。

② カメラを切替て画面表示・録画

危険エリア、要警戒エリア、人が居るエリアなど
注視すべきエリアのカメラから順に、自動で切り替えてモニタ表示。

③ モーション録画と異常時の履歴保存

監視エリア内の人を自動で検出し、録画。
無駄な録画(人がいないときの録画)をせず、ストレージ負荷を低減。
異常の発生した場所と時間の履歴(ログ)とともに映像を録画。

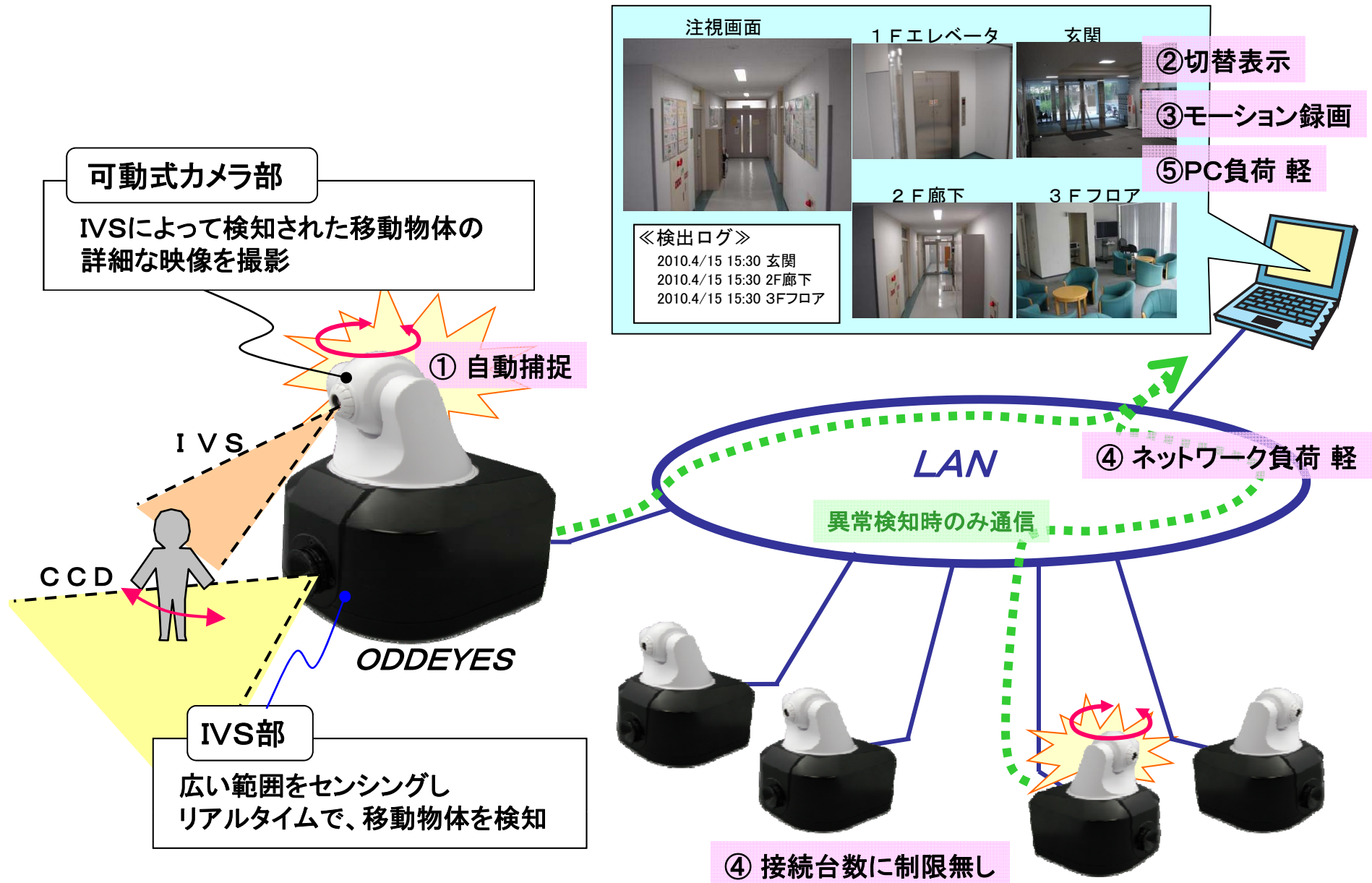
④ ネットワーク負荷が低く 接続台数に制限無し

汎用のLANに接続することで監視ネットワークが容易に構築可能。
センサカメラは自律動作するため、管理PCとの通信は異常時のみで
ネットワークへの負荷が低い。これにより、多数のカメラを接続することが可能

⑤ 低スペックPCで一括管理が可能

センサカメラは自律動作するため、管理PCへの負担が低く、
多数のセンサカメラを一括管理可能。

インテリジェント監視システムの特徴



システムの拡張性

～ 将来的な開発展開の構想 ～



インテリジェント監視システムが備える将来拡張性

① 棟内の人の移動の動線を検知

IVSにより、人の移動の動線を検知。また、入室人数の管理。
複数箇所に設置したセンサ情報の連携により棟内の人の流れを検知。

② 温度、ガス、音センサとの組合せによる多様な異常の検知

本提案の監視カメラユニットは、FPGAを内蔵し、拡張性が高く、
温度、ガス、音センサと組合せが可能。これにより、

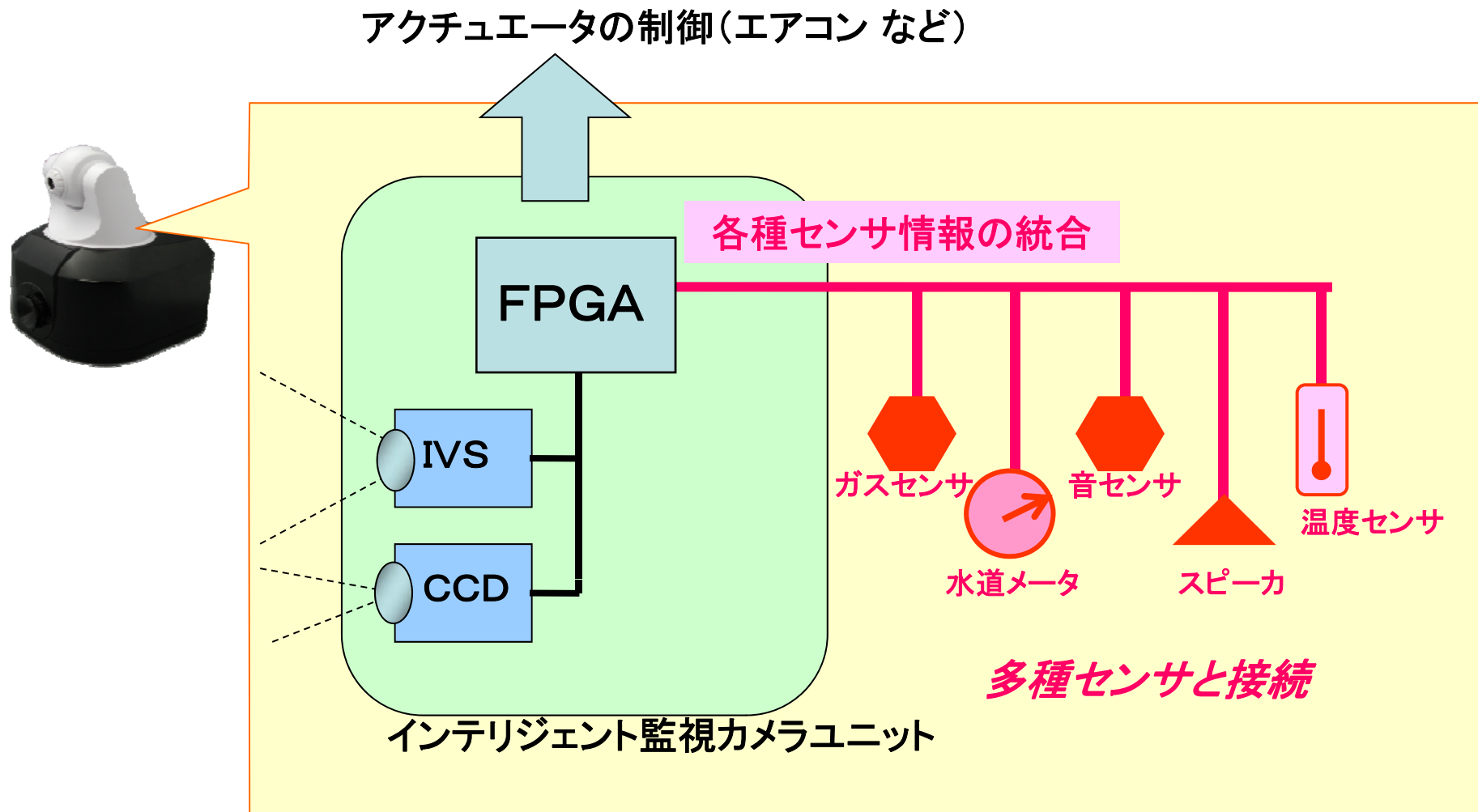
③ ドアや空調などの制御

温度、ガス、音など多種の情報のセンシングにより、空調やドアなどを制御。
頭脳をもったビルに変身。

④ 遠隔との通信、および制御

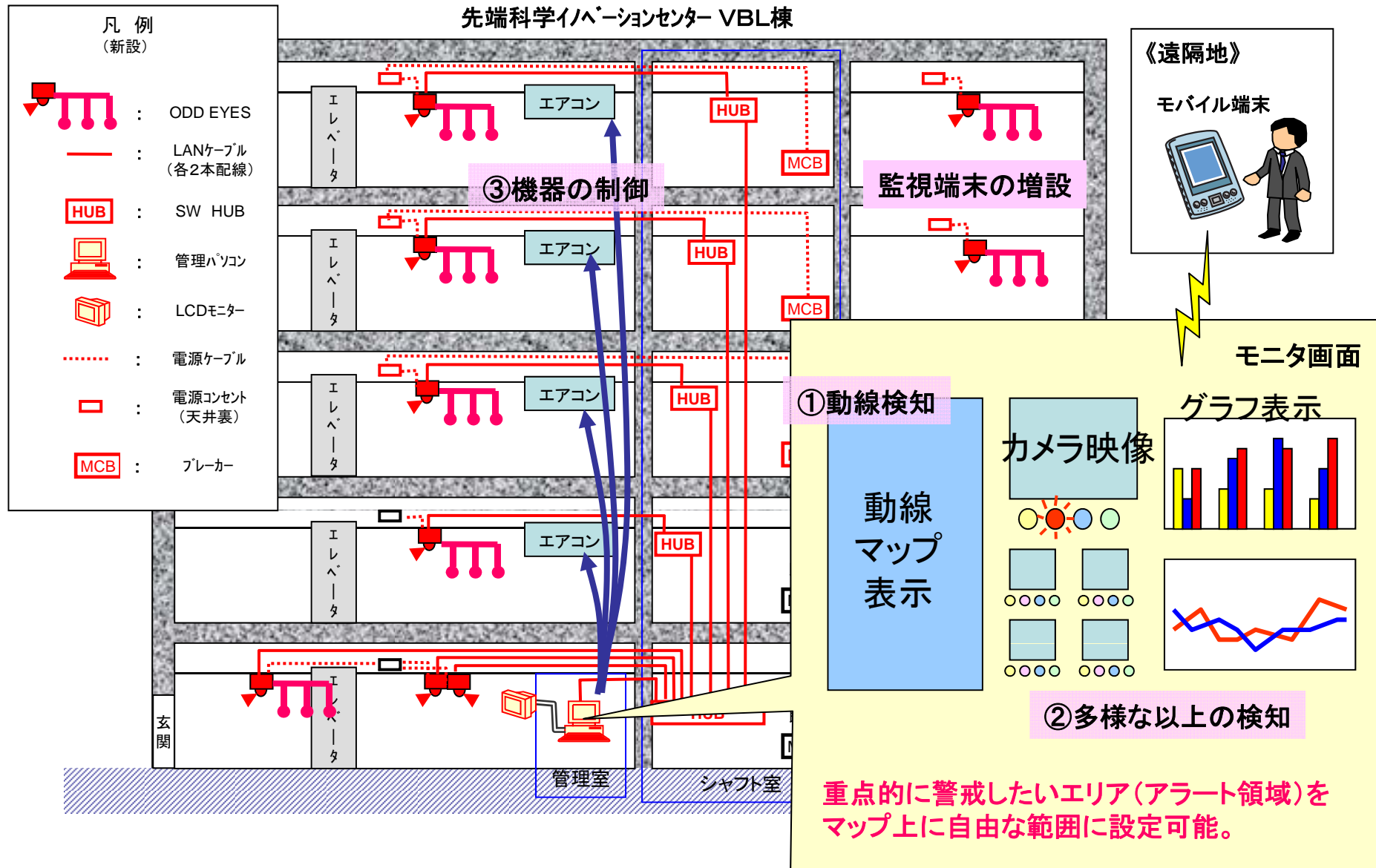
一般的に映像情報はデータ量が膨大で通信に負荷がかかるが、本監視システムは
マップ表示、履歴表示や異常の瞬間のスナップショットの通信により、通信負荷軽減。
モバイル端末との通信。また、遠隔地から監視システムへの指令。

インテリジェント監視カメラユニットを各種センサと連携



温度, 音, ガス などの各種センサと接続 拡張

インテリジェント監視システムが備える将来拡張性

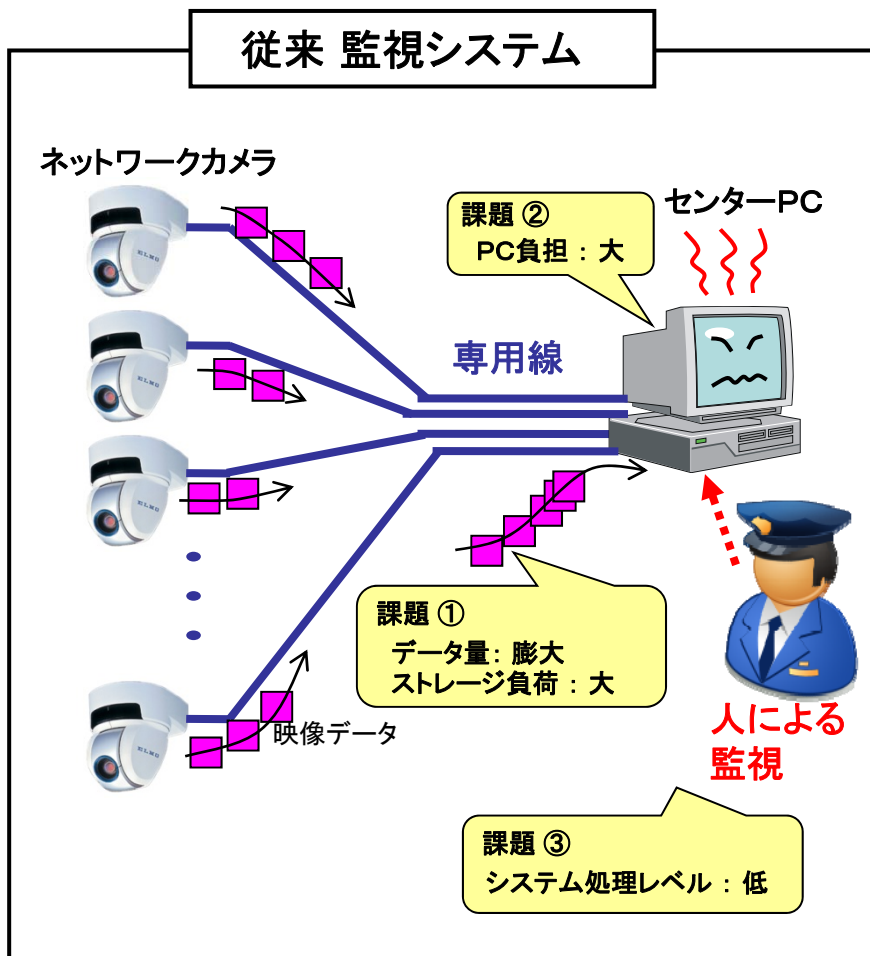


既存の監視システムの課題

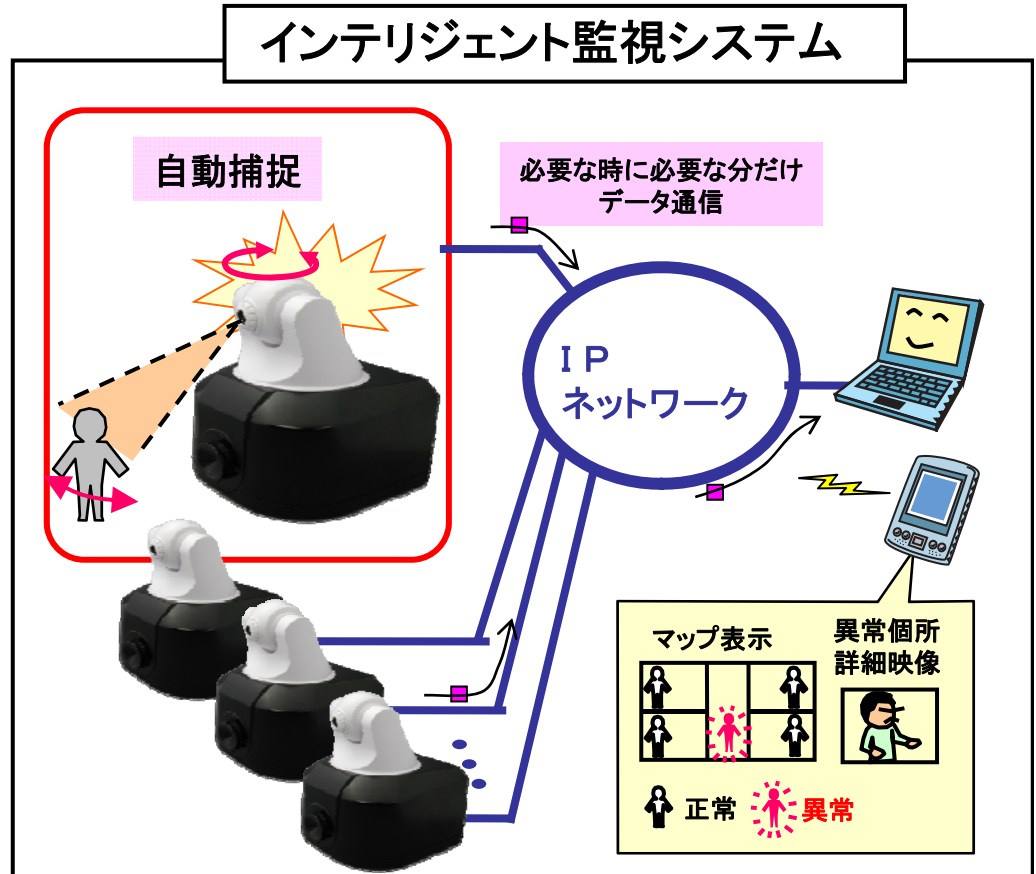


既存監視カメラの課題

従来 監視システム



インテリジェント監視システム



既存監視カメラの課題の一例

【例：既存監視カメラでは 移動物体の追従は困難】

《カメラの視野を広くした場合》



侵入者が小さすぎて 個人が特定できない

《カメラの視野を狭くした場合》



侵入者が一瞬で通り過ぎるため 個人の特定が困難
(撮影期間で”よそ見”をしたら 顔の撮影困難)

既存の監視カメラでは侵入者の顔認識などに限界がある